

紅梅園だより

創業30周年記念特別号



おかげ様で創業30周年を迎える事ができました。

今回は30周年という事で、紅梅園の30年間を振り返りたいと思います。

初期

昭和56年 創業



現事務 ▶ 家のような小さな作業場、夫婦2人からのスタートでした。



パンフレットは商品数も少なく初期は、梅干だけでした。

平成3年 あげぼの工場完成



写真は引っ越しの様子



苦しみながらも徐々に仕事も増え、念願の工場を新築。小さいですが、梅畑の中にある素敵な工場です。



あげぼの工場内作業風景 狭い工場をフル活用していました。



あげぼの工場での休憩中をパチリ!



俳優さんも来られました。雑誌の取材で俳優の三田明さんが来社。工場のおばちゃん達(おねえさん?)は色めき立ちました。



パンフレットには、高級な壺入りや木箱入りの梅干が加わりました。



もちろんサインもばっちりもらいました。

中期

平成9年 新庄工場完成



年々増える受注に対応する為、近代設備を備えた広い工場が必要となりました。



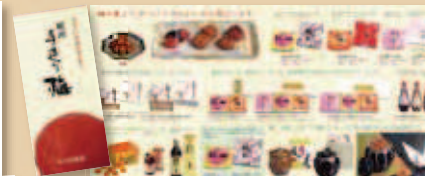
漬込みタンクも大きくなりました。1つのタンクに約960kg、粒数に換算すると3万8000粒の梅干しを漬ける事ができます。このタンクを新庄工場、あげぼの工場合わせて24個備える事となりました。



品質管理の向上 年々高まる、食の安全性に 대응する為、品質検査室やエアシャワー、金属探知機などを導入。時代と共に工場の質も向上していきました。



新庄工場内のお花畑 従業員のガーデニング愛好家達が、新庄工場内にお花を植えていました。シーズンによって種類も花が咲き、大変キレイでした。



パンフレットも商品が少しずつ増えて来ました。

テレビ取材も入りました。テレビの取材が入り、工場のみんなも緊張～! そんなに映さないで(汗)

平成16年 甲申年の梅 限定販売



12年に1度の申年の梅、甲申年(きのえさどし)の梅、この年は限定商品として「陶器入りの梅干」を販売しました。

現在

平成17年 新事務所完成



商品の種類も増えパンフレットのサイズも大きくなりました。



平成17年 紅梅園 マスコットキャラクター「ブラミーちゃん」誕生。名前を応募していただいた結果、北海道の斉藤様が名付け親となりました。



いつまでも可愛がってネ!

平成20年 「世界が認める会社に」モンドセレクション最高金賞&ITQI 3ツ星 W受賞



社長の「梅を世界の人に食べてもらいたい」という願いから、つくられた製品が、世界で認められました。小さな作業場で2人からスタートした梅干屋が、お陰様で、ついに世界に認められる梅干屋となりました。

平成17年 第3工場完成



新庄工場も手狭となってきた為、新庄工場内にあった事務所を移転し、新庄工場内はすべて作業場となりました。また、新事務所と共に、第3工場も新築。第3工場は梅ジャム、梅シロップ、デザート梅などの新製品の専用工場として誕生しました。



商品をより見やすく。現在は、8ページの冊子になりました。



多くの人に喜んでいただけるように、社員一同これからも頑張っています。

社長の最初の夢は「社員を世界中に連れて行ってあげる事」でした。

ハワイ旅行が、初めての海外旅行でした。ハワイへは2回行きました。ハワイの翌年、アメリカの首都ワシントンへ。ナイアガラの滝も見ました。他にも、韓国へ「冬のソナタツアー」や、国内は数えきれない程行く事ができました。

●平成6年、ハワイ旅行



●平成7年、アメリカの首都ワシントンにて。



●平成8年、ニュージーランドにて。



●平成20年、沖縄にて。この頃になると人数も多くなりました。

